

師会だより 第8号

「師会だより」は必要に応じ年に数回発行いたします
次回は平成 26 年12月予定です。

第8号
発行者

平成 25 年 11 月 28 日発行
社団法人 熊本県鍼灸マッサージ師会
860-0844 熊本市中央区水道町 14 -21
TEL 096-356-7609 FAX 096-356-0901

発行責任者
編集委員

会長 高橋 武良
上村 悦雄 黒田 亘史 事務所職員

第 11 回 熊本県鍼灸マッサージ師大会

大会テーマ 「人とこころ」

8 月 3 日（土）4 日（日）くまもと県民交流館「パレア」9 階 会議室 1 他

大会は 13 時より、「精神科医療の実際」と題したピネル記念病院 院長 富田正徳先生の特別学術講演に始まり、続いて同病院リハビリテーション副部長 村上恵子先生の「より良いコミュニケーションのために」という演題でカウンセリング技法の活用をご講演いただき、日頃はりきゅうの治療院に来院される心に悩みを持った患者さんとの上手な接し方など、良い参考となりました。

そして、所属会員である熊本市の浦本修資、村上昭馬、福田祐一、八代市の加来道男、菊池市の依田鉄生、宇城市の永田新哉、各先生方の一般口演が 6 題。どの先生方も日頃の治療の中で経験された症例の報告に、参加者が釘付けになって聞き入っていたのは印象的でした。

次回からも今年以上に興味ある臨床（症例）報告を期待しています。

1 日目はこれをもって終了し、会場を熊本交通センターホテルへ移し、豪華景品が当たる！恒例の福引大会に、おいしい料理とお酒に酔いしれ、会話も弾む楽しい懇親会となりました。



2 日目 9 時からは、本師会の丸山英範育成部長による「往療マッサージの実際」の特別研修会があり、療養費で行う医療マッサージの実技を、解説を交えて分かり易くご講義頂きました。

10 時から一般市民の方々も参加した市民公開講座では、ピネル記念病院理事長 小笠原嘉祐先生に「ストレスを活かす」～ストレスケア十カ条～の、演題でご講演いただき、ユーモアを挟んだお話に参加者全員引き込まれ、あっという間の 2 時間でした。

11 時より別室の会議室 2 では健康相談および施術体験コーナーを行い、多くの市民で賑わいました。

また 13 時からは保険研修会「自賠責保険の取り扱いについて」を本師会の小山博一保険部長より取扱い上の注意点をわかりやすい内容で解説していただき、質疑応答も充実した内容となりました。

15 時にすべてのプログラムが終わり、閉会式の丸山衛士実行副委員長の総括をもって大会を終了しました。

来年も、数多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。





無免許マッサージの危険性

啓蒙のチラシ配布

8月3日(土) 下通りアーケード街

10:00~11:30 県大会実行委員、会員有志

県大会開催当日の午前10時より、下通りアーケードにおいて無免許マッサージの危険性に対する啓蒙と今回の第11回熊本県鍼灸マッサージ師大会開催のお知らせをする2種類のチラシ配布活動を行いました。

時間が早いせいか人通りが少なく、配布するのも大変でしたが、チラシを受け取って熱心に見入り、無資格者のことについて質問されるご年配の方や、チラシで知って市民公開講座へ参加された方々もあり、それなりの効果はあったように思います。

チラシ配布にご協力いただいた先生方、蒸し暑いなか本当にありがとうございました。

熊本県庁表敬訪問

8月8日(木) 9:00~10:30

蒲島郁夫県知事、藤川隆夫県議会議長、松葉成正健康福祉部長を表敬訪問。

県議会棟に8時30分に集合、9時前に議長室に藤川県議会議長を訪ね、打ち合わせの後、県知事執務室を訪問。蒲島県知事と同席頂いた松葉健康福祉部長、白濱良一健康局局长へ(社)熊本県鍼灸マッサージ師会執行部交代のご挨拶、および業界の活動、取り巻く現状などについて懇談を行った。

懇談の中で、藤川議長が「私も鍼灸治療を受けています」との話に、蒲島知事も興味を示されたので、高橋会長が持参していたパイオネックス(円皮鍼)を知事の左腕の経穴に貼ってあげると、大変喜ばれていました。

その後、県議会議長室に戻り議長応接室において、白濱健康局局长、大塚葉子健康局国保・高齢医療課課長に同席の係官と現在進行形である療養費取り扱いの様々な問題点について、小山保険部長より説明があり、対応等の協議を行った。

最後に熊本県議会議長室にて藤川県議議長を囲んで今回参加した、後列右から小山保険部長、高橋会長、橋口事業部長、黒田総務副部長、上村総務部長の5名で記念撮影!



平成 25 年度（公社）日本鍼灸師会 九州ブロック会議

8月31日（土）9月1日（日）長崎ワシントンホテル 会長 高橋、監事 橋本 2名出席

（公社）日本鍼灸師会九州ブロック会議が長崎市のワシントンホテルで、仲野弥和日本鍼灸師会会長、大口俊徳副会長を迎え、宮崎県を除く九州沖縄7県の役員が集まり開催されました。

1日目は、平成25年度九州ブロック会議事業計画および予算案について、日本鍼灸師会の活動報告、九州ブロック各県師会から日本鍼灸師会本部への要望について、各県師会の活動報告および情報交換について、九州ブロック会並びに日本鍼灸師会の当面の諸問題について等の話し合いが持たれました。

2日目は、特別講演「挫刺鍼による久場式跳鍼法」沖縄鍼灸師会会長 久場良男、「鍼灸療養費の現在の流れと今後」日本鍼灸師会副会長 大口俊徳、「日本の医療と鍼灸ビジョンの連携」日本統合医療支援センター代表理事 織田聡の3題があり閉会となりました。

中央の動きを知る上で大変有意義な会議であったと思います。

平成 25 年度（公社）全日本鍼灸マッサージ師会 都道府県師会 会長会

11月10日（日）東京 ホテル ルポール麹町 会長 高橋 出席

会長会へ初めての参加でした。今年度は①報告事項について、②今年度下半期の事業について、③将来ビジョンの検討について、④各県師会からの提案事項についての議案が協議されました。

③については全鍼師会の理念を「全日本鍼灸マッサージ師会は、国民の健康のために良質な医療を提供し、生活の質の向上を図ります」と定め、具体的ビジョンとして1) かかりつけファミリーとして地域の住民のための予防医学・介護予防を推進していきます。2) 多職種との連携を強化し、国民の生活を包括的に支援していきます。として、「かかりつけ鍼灸マッサージ師」制度の定着を目標として行くことが説明されました。

現在、医師会では身近な存在としての「かかりつけ医」制度を積極的に推進し、国民の健康の保持増進に役立つように広報しています。このタイミングを逃さず鍼灸マッサージ師も「かかりつけ鍼灸マッサージ師」制度を構築する必要があるとして、医師会の「かかりつけ医」制度のコンセプトである（治療）（予防）（連携）（相談）の定義に沿って、その説明を「かかりつけ鍼灸マッサージ師」とは、1) 治療「日本の伝統医療である鍼灸マッサージは、あなたの心身の状態や生活環境を総合的にとらえ、一緒に最適な治療方針を考えていきます。」2) 予防「東洋医学は心身のバランスを整えることで自然治癒力を高め、病気になりにくい身体をつくることを目標としています。」3) 連携「あなたの地域の医師や関係機関と連携し、あなたに最適な医療をご提案いたします。」4) 相談「もしあなたが病気や健康、医療に関する悩みを抱えていたら、ぜひ相談して下さい。」としています。

そして、専門領域の講習会やPR戦略、認定要件等も考えてあるようです。

県師会においてもいろいろとこれから考えて議論して行きましょう。

熊本県立盲学校、九州看護福祉大学表敬訪問

11月13日（水）会長 高橋 副会長 丸山 事業部長 橋口

14：30～15：15 熊本県立盲学校 本田達也学校長 松崎聡一郎教頭

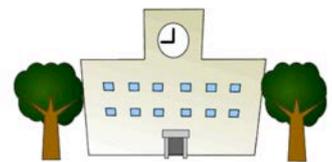
16：30～18：00 九州看護福祉大学 二塚信学長 中井さち子鍼灸スポーツ学科学科長

上記2校を表敬訪問し、新執行部としての挨拶をしてきました。

九州看護福祉大学では、平成26年3月に鍼灸スポーツ学科から初めての卒業生が誕生します。その卒業生のうち人物成績ともに優秀な学生への（社）熊本県鍼灸マッサージ師会会長賞の授与が決まりました。

消費税引き上げに伴う療養費への反映のために協力お願い！

（公社）全日本鍼灸マッサージ師会、（公社）日本鍼灸師会より消費税8%に引き上げに伴い、増額分の消費税を療養費に転嫁していただくように厚労省に要望するに当たり、青色申告特別控除65万円を受けている個人事業主である鍼灸治療院の青色申告決算書1~4のコピー（損益計算書、月別売上金額および仕入れ金額、減価償却費の計算、貸借対照表）提出の協力依頼が来ています。当然個人情報特定できる欄は黒塗りで消していただいたもので結構です。提出方法等はご連絡いただければ、事務所の方で説明いたします。対象者の先生方、よろしくご協力のほどお願いいたします。





柔道整復師会との意見交換会

8月17日(土) 熊本市国際交流会館 18:30~20:30
第3回熊本城マラソンケアボランティアに向けた柔道整復師会企画の合同研修会および意見交換会に、高橋会長はじめ丸山衛、有馬、上村、橋口、依田、草川、宮原の8名で参加しました。

研修会は「マラソンシーズンに向かった練習方法とけがの予防 ストレッチ」と題して、熊本県立大学非常勤講師 川津登志枝先生による講演が行われました。

講演後、意見交換として双方の熊本城マラソンケアボランティア活動状況を報告し、それに対する質疑が行われましたが、共同して活動が出来ないかその方向性を探るといふ意義は垣間見えましたが、初めての顔合わせでなかなか論議は深まりませんでした。

今後、研修会を共催するなどの機会を設けて互いの理解を深める必要があります。

第1回熊本リレーマラソン

平成25年11月3日(日) うまかなよかなスタジアムで開催された、第1回熊本リレーマラソン大会においてスポーツケアコーナー活動を、(社)熊本県鍼灸マッサージ師会の事業として、くまもと鍼灸マッサージ研究会の協力を得て行いました。

ケアスタッフ数、27名(県師会8名、上記研究会19名) ベッド数10台にアイシングコーナーを設けるなどの新たな取り組みを行いました。

コーナー利用者数207名、これまでボランティア活動は各郡市会ごとの活動と位置づけられていましたが、熊本日日新聞社主催である事、熊本県におけるスポーツケア活動は鍼灸マッサージ師業界がリードしてきたこと、第1回目でありこれまでとは違ったランナー参加者が対象者であることなどから、本会の新たな活動の方向を模索するため県師会主導で実施したものです。

本会に所属しないマッサージ師鍼灸師の情報を得る機会がなく、また本会活動を告知する手段がない事などを考慮すると、新たな会員を獲得するための機会として今回のような競技大会を位置づけることが出来るのではないかと考えます。

三連休の中日であるにも関わらず参加いただいた先生方に心から感謝申し上げます。

本師会参加者

橋口賢一、上村悦雄、
丸山英範、黒田亘史、
青木広光、村上昭馬、
坂本忠廣。



審査部より

保険部長の小山です。今回はこれまでに保険審査会にて問題になった事例をご報告します。

- ・手書きの場合に字が汚い。
- ・医療機関が作成した同意書に「印」の無い物や「住所」、「患者名」等の記入漏れがある。
- ・会長印の所に患者印が押してある。
- ・印刷の時のズレ
- ・朱肉印でなくスタンプ印
- ・往診、来院時の計算間違い
- ・住所や氏名のフリガナの記入漏れ
- ・再同意書が前回同意の有効期間中に早くも添付してある。(同意有効期間が満了した翌月の申請書に添付して下さい。)
- ・原則毎月請求ですが、3ヶ月や6ヶ月まとめて申請されたケースがある。
- ・トミタ→富田・富田、ワタナベ→渡邊・渡邊、ヤマサキ→山崎・山寄・山崎など、微妙な字の違いがある。(略字で簡略される場合もありますが、申請書の氏名や印は原則として保険証に記載してある文字を基準として下さい。)

誤りのない申請書は、それを受け取り審査する保険者への印象がよくなります。又、当会の信用向上にも繋がりますので、会員の皆様に於きましては引き続き適正、適切な請求をお願いしたいと思います。現在は、問題があれば審査会開催中に直接ご連絡をしています。

八代市鍼灸マッサージ師会臨床講習会報告

平成25年10月27日(日)午後1時30分より

会場 八代市代陽公民館 0965-31-5507

講師 (社)熊本県鍼灸マッサージ師会理事 人吉市鍼灸マッサージ師会会長
人吉球磨スポーツトレーナー協会 キネシオテーピングトレーナー
宮原はり灸院 宮原信晃

演題 「鍼灸マッサージ師の治療に使えるテーピング」

- 1, 患者へ治療としてテーピングを多用する
- 2, 競技で異なるスポーツ障害
- 3, 「自分で自分のケアが出来る患者様(選手)」に育てる
- 4, 「アイシング」→「愛シング」
- 5, テーピングは心の支え。安心していただく事こそ治療の心得

テーピングの実際

アスレチックテーピング(固定)と、キネシオテーピング(伸びるテープ)

世界は、キネシオテーピングを下貼りに使っている(各種オリンピック選手)

キネシオテーピングの4大効果

- 1, 患部の鎮痛効果
- 2, 血液、リンパ液の環境を良くする
- 3, 筋肉の機能を正しく戻す
- 4, 関節のズレを正す

使い方 筋肉・腱に、テープをのせる(ヒフを意識する)

テーピング実技 例として20センチのテーピング装着をしてみましょう

- 1, ヒザ
- 2, 足首
- 3, 腰
- 4, 肩関節
- 5, その他

まとめ: スポーツ選手には

- 1, 発症・急性時は、外科や整形外科へ必ず受診すること
- 2, 成長時の骨に注意。(特に留意する病症)
中学生の肩関節(上腕骨近位骨端線離開)
肘(剥離骨折) 腰(腰椎分離迂り症)
- 3, 「動く」、「休む」、を、メリハリつけること
- 4, いつでも相談出来る環境をつくること。緊急時含む

一般患者には

- 1, かゆかったら、テープを自分ではぐようにお話する
- 2, 寝るときは、シップは剥がせる→キネシオは貼って寝せる
「寝て治す」←キネシオテーピングの長所である



第12回 東洋療法推進大会 in 新潟

主催 公益社団法人 全日本鍼灸マッサージ師会
平成 25 年 10 月 20 日 (日) 21 日 (月)

新潟市 ANA クラウンプラザホテル新潟 高橋会長
参加大会テーマ「東洋医学を知る！～伝統と科学の調和を目指して～」

特別講演 新潟大学名誉教授 安保 徹
「免疫力アップの生き方と東洋療法」

シンポジウム

1 保険推進委員会

「療養費の新しい制度づくりについて考える」

2 学術委員会

「かかりつけ鍼灸マッサージ師になるには」

3 無免許対策委員会

「厚生労働省医政局医事課との定期協議に物申す」

4 保険推進委員会&学術委員会

「地域医療における鍼灸マッサージ師の役割」

～療養費の今後について～

学術委員会「臨床発表」8 題

普及事業委員会

「東洋医学川柳」・「日本型統合医療の理念と実践」

スパ事業委員会

「温泉とはりきゅうマッサージで健康づくり」

スポーツ事業委員会「ふみだせ、鍼灸マッサージ師」

地域健康づくり委員会

「総合支援事業・地域健康づくり認定審査」

視覚障害委員会「きっとみんなに便利」

「視覚障害支援機器プレゼンテーション」

1・4 と総合支援事業・地域健康づくり認定審査へ参加、1 では第 2 回社会保障審議会医療保険部会あん摩マッサージ指圧、はり・きゅう療養費検討委員会に業界側から提出された一部負担金でかかれる制度の実現、定期的・計画的に行う訪問施術制度の創設についての趣旨説明があった。

4 では訪問マッサージ受療者の実態と要介護度に関する調査の分析、認定訪問マッサージ師制度講習会の概要および制度の活用方法、療養費による新しい訪問施術制度について説明検討があり、業団の進むべきであろう道筋の一部を理解することができた。

また、今後の介護保険法改正で国が充実させる方向性を示している総合支援事業について、厚生労働省老健局担当官の講演があり、社会が高齢化する中、介護が重度化しても住み慣れた町で一生涯暮らしていくためには、地域の連携や介護を予防する知識を持つ指導者の役割が重要であり、その一翼を鍼灸マッサージ師にも担って頂ければありがたいとの説明があった。その後の地域づくり認定審査では、熊本市介護予防事業で行っている私の治療院での運動指導を行い、無事指導者認定を受けることができた。

～熊本市鍼灸マッサージ師会～



平成 25 年度 定期例会

9月15日(日)10:00～12:00

参加総数 23 名にて開催しました。

内規の変更の件で、内規 14 条-4:「自家施術とは、配偶者及び施術担当者の 1 親等までの親族の施術をいう」というように、現行の条文を変更することが承認されました。

また、往療マッサージに関する件では、高橋会長より、7月14日に朋暁苑にマッサージのボランティアを行った報告と、今後満永先生にご協力を頂きながら往療マッサージの営業活動を始めてゆくとの説明があり、会場からは、活動する場合の交通手段は？技量・レベルの統一を図らなければならないのでは？患者を前にして講習・研修が良いのでは？などの意見が出ました。それに対し、往療には場所的に近い治療者が動けば安く提供ができる、学術・技術向上を図り、患者にマッチするような研修を実施してゆく、医者への同意書の発行の件・仕事の確保の件など問題は多いが動き始めたい、などの応答がありました。

今回、参加人数が会員半数にも満たない例会でした。多くの会員の声を聞き、それを反映させてゆける会にしようということから動き始めた例会です。多くの会員が参加し、小さなことでも声を出すことで、より良い方へ進んで行くよう取り組んでゆきましょう。来年の参加、お待ちしております。

熊本市市民健康フェスティバル

9月28日(土)29日(日)

熊本県民交流館「パレア」・鶴屋ホール

本年度は、いつもより一ヶ月早く開催され非常に暑い二日間となりました。市民の健康教育に沿い、公共的イベントとして開催される健康フェスティバルへの本師会参加も 28 回目を迎えました。

本師会目玉の自律神経測定は、機会故障の為、健康相談来場者が少ないのでは心配しましたが、二日間総数 168 名、実際の来場者はそれ以上で、定着した人気コーナーとなっているようです。

今年も、九州看護福祉大の鍼灸科学生のボランティア参加をいただき、相談コーナーも若返り活気してあふれていました。

協力頂いた会員および学生は以下の方々です。

橋口賢一 岩本真也 黒田亘史 清田信幸

入江康男 後藤 楽 執行部 5 名

学生 門分優実 欽崎裕一郎

田中李奈 山本淳司

ありがとうございました。



～熊本市鍼灸マッサージ師会～

平成 25 年度 清水地区「市民のつどい」

平成 25 年 11 月 2 日（土）3 日（日）清水公民館
健康相談、自律神経測定、無料施術体験コーナーに、二日間総数 91 名の方が来場された。

今回、清水地域ボランティアも当師会 11 回目を迎えました。毎年楽しみで鍼灸コーナーに来られる方や、施術を受けられた相談者の方々のなかには、初めて鍼灸マッサージを体験された方も多く、2 日土曜日には、木原先生も来場され、「体が軽くなった。気持ちいいですね。初めて体験しました。」とビックリ！

市民の方々も「体が軽くなりました。」「鍼は痛くないですね。」、微笑みながら「住所地の鍼灸院を教えてください。」と、良い反応が数多くありました。

「市民のつどい」ボランティア活動は今後も継続していくつもりです。ひとつのコーナーとして定着してきました。

ご協力頂いた先生は以下の方々です。

池本 仁 岩本真也 浦本修資 清田信幸

近藤 隆 中村篤行 西村高明 橋口賢一

村上昭馬 矢住紘一 柳田次雄 山川慎二

山田聖一

野畑美佳 高岡美智子

高橋武良 草川正規 上村悦雄 萩原克俊

ありがとうございました。

恒例!! 会員親睦会（忘年会）

開催のお知らせ！

葉書でお知らせしてあるとおり

平成 25 年 11 月 30 日（土）19：00～21：00

熊本市中央区花畑町 12-16 356-7788 会費 5,000 円

《银杏釜めし》において会員親睦会を開催致します。

例年、顧問の先生方と和やかに美味しい料理を囲んで、一年の労をねぎらい合いながら、楽しいひと時を過ごしています。

翌日の 12 月 1 日に日本鍼灸師会の全国師会長会議へ出席の高橋会長も、熊本市の会が第一だからと当然の参加です。

日頃の悩み、ジレンマ、うっ憤をぶちまけて（悪酔いしちゃあダメよ）楽しみましょう！

多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

※この記事を目にした県師会の会員の方で、参加希望の方があれば、どうぞご参加下さい。

参加締切は 11 月 26 日（火）ですが 28 日迄申し込み OK

※場所は左のマップ参照ください

もろもろ掲示板

第 29 回 経絡治療学会 学術大会 九州大会

会期 平成 26 年 3 月 29 日 (土) 30 日 (日)

会場 アクロス福岡 4F 国際会議場 福岡市中央区天神 1-1-1

主催 経絡治療学会

後援 日本鍼灸師会 全日本鍼灸マッサージ師会 全日本鍼灸学会 福岡県鍼灸マッサージ師会他

会費 会員 8,000 円 (当日 10,000 円) 一般 10,000 円 (当日 12,000 円) 懇親会 10,000 円

参加締切 平成 26 年 3 月 7 日 (金)

内容概略・会長講演「触れるからはじまる経絡治療」経絡治療学会会長 岡田明三

・会頭講演「伝統を守る臨床実技」馬場回生堂鍼灸療院院長 馬場道敬

・教育講演「六部の脈状からみた薬法と選穴」トカゲ堂医院院長 黒岩弦矢

・教育講演「東洋医学西漸史における日本の貢献」九州大学名誉教授 ミシェル・ブォルフガソク

・特別講演「鍼灸古流派と経絡治療」安井医院院長 安井廣迪

・実技公開「単刺による補瀉法」経絡治療学会夏期大学講師 大竹野久

・実技公開「より良い治療のために～術を中心に～」経絡治療学会関東副支部長 大木健二

・シンポジウム「伝統を守る鍼灸治療」戸田隆志 山口誓巳 馬場道敬

・一般発表 10 題

詳しい内容の大会リーフレットがほしい方は事務所へご連絡下さい。

鍼臨床講座 (打撲や捻挫や胃潰瘍も治せる平方鍼法)

開催場所：熊本市「あすなろ支援センター」

電話 090-9571-6096 (才田覚)

開催日 毎月第 1 日曜日

開催時間 午前 10 時～午後 4 時

主な講座の内容と担当講師

初心者のための触診について 鍼の臨床講座 理学的検査法の理論と実技 森岡 秀幸

参加費 通常はテキスト代として 1,000 円程度と昼食代

問い合わせ先 才田 覚 (電話 096-371-1234) 締め切り 毎回開催日の前の月曜まで

熊本鍼灸臨床研究会 (阿蘇望会)

医学・医療の一員として、幅広い疾患治療を担当できる鍼灸家を目指して、議論しながらともに学ぶ研究会です。今年度も、医学講座、漢方講座、鍼灸講座、実技と臨床報告会の 4 コマを基本に 1 日 4 時間半、年間 6 カ月間、第 4 日曜日に講座を開催します。

今年度の講座は 6 月から 11 月に熊本市市民会館会議室、くまもと県民交流館会議室で開催

会費 5,000 円 (11 月 24 日 本年度最終講座)

講座プログラムは下記事務局へ

問い合わせ先 熊本鍼灸臨床研究会 (阿蘇望会) 事務局

862-0959 熊本市中央区白山 3 丁目 4-2 096-372-6333 高橋武良 take8428@s6.kcn-tv.ne.jp

第 11 回大師流小児はりの会九州 初心者講習会

日時 平成 25 年 12 月 1 日 10:00～16:00

会場 アクション福岡 (予定) 定員 60 名

受講費 一般 8,000 円 学生 6,000 円

申込方法 [E-メール]又は[往復はがき]にて

郵便番号 住所 氏名 電話番号 ファックス番号 メールアドレス 施術所名または学校名 取得免許を明記の上、下記の申し込み先までお申込下さい。

〒830-0022 福岡県久留米市城南町18-37 ありま鍼灸院 梶原旬矢 Fax: (0942)39-1005

Email: kodomonohari@yahoo.co.jp

～廃鍼について～

ご存じのとおり、熊本県師会の会員であればどなたでも、廃鍼処理を県師会に無料で委託することができます。ただし、ご持参していただくことが条件となります。

随時本会事務所での受取りに加え、今後は研修会等の会場でも毎回廃鍼を受付けますので、ご遠慮なく廃鍼をご持参ください。その際には、事前に事務所まで電話連絡していただくと助かります。

また、各郡支部で廃鍼をとりまとめておられる場合など、必要ならば廃鍼専用の箱を業者から無料で提供してもらえます。ご希望の方は事務所までご連絡ください。

事務所の通常の業務時間は次の通りです。平日 9:00～17:00（土・日・祝日は休み）

～年末年始事務所業務のお知らせ～

12月28日（土曜日）～1月5日（日曜日）まで

事務所の業務はお休みさせていただきます。

仕事始めは **1月6日（月曜日）** から となります。



編集後記

最近、街の中に心療内科が増えてきています。現代の生活がストレスフルになっているのだろうと感じさせられる瞬間です。

昨年は行動認知療法の一つであるマインドフルネスの提唱者である米国のDr.ジョン・カバットシンさんが来日されて、シンポジウムが開催され話題になっていました。

これまで我々鍼灸マッサージ師も前述の療法が必要な患者を扱うこともあったと思いますが、これからは益々増えていくことになると思います。鍼灸マッサージ師も筋骨格系の疾患だけではなく、様々な身体や心の問題を抱えた患者に治療を求められるように努力して参りましょう。

今回初めて編集後記というものを書かせて頂いています。これまで、師会だよりは、読むもので作るものではなかったのですが、今年から総務副部長の立場で、ほんの一片ではありますが、編集に携わらせて頂くことになりました。各記事を書かれた先生や、編集・校正に関わられる先生のご苦勞を痛感致しました。